

40年ぶりの全国大会！いい経験ができました。

～ 準々決勝、準決勝、そして決勝と続く・・・憧れのNHK ホールのぶちに立てるのは
わずか・・・全国だからこそ経験できる・・・後輩たちも目指しましょう！！ ～

40年ぶりの出場だった全国大会、結果としてはあと少しで準決勝進出を逃がしましたが、“全国大会”でないとできない多くの経験をさせていただきました。

まず、初日の夜、兵庫県から出場者がみんなで集まり、最後の合同練習です。一人一人が「準決勝に進出する」「NHK ホールの舞台に立つ」との強い思いを持ってお互いに意見を交換しながら練習に取り組みました。

2日目(準々決勝当日)の夜、兵庫県からの参加者がみんな集まり、今度は「課題文」の練習です。準決勝からは各自の原稿だけではなく「課題文」があります。その課題文をいかに読むか、それによって審査結果が大きく変わります。朗読部門では、その課題文の出典から作者の思いまで研究し、どのように表現していくかみんなで検討しました。この時点では誰が準決勝に進出しているかはわかりません。参加者みんなが「自分が行くのだ」との思いを持って取り組みました。

翌3日目の朝、結果発表です。当然悲喜交々です。兵庫県からは、アナウンス部門で3人、朗読部門で5人が準決勝です。準決勝に進出できなかった参加者についても、各部門の研究講座があり、それを受講することで、何よりも自分の力をさせるべく有意義な時間を過ごすことができました。

最終日は会場がオリンピックセンターから NHK ホールになります。実はこの NHK ホール、入場するのが大変です。会場はすべて指定席です。また、決勝進出者は NHK ホールで発表です。ですから当然のこと、準決勝出場者が最優先で入場です。そして、全国大会参加校に2席ずつ割振られます。席がどこになるかは入場時までわかりません。それ以外については、“空席がある場合に入場できます”というなかなか入りたくても入れない場所です。NHK ホールに入れるということは放送部にとって憧れです。やはりそれだけ価値があるということかなと思います。その価値がある場所に“明石”がいる・・・生徒はよくがんばったと思います。ぜひとも次は“40年”もかからず“全国大会”に参加したいと思います。

全国大会に参加するからこそ、全国の有力校と交流を持つことができる。お互いに刺激しあいより良いものを作成できる。何より、交流が広がり視野が広がる。それは、参加者自身にとって大きな財産になる。人生をより良く変えるキッカケになる。

1・2年生だけでなく、明石高校を目指している皆さんも“全国”にチャレンジしましょう。そして、より良い高校生活を創造しましょう。



チーム兵庫、みんなで頑張りました。



NHK ホール、入るだけでも一苦労・・・。



憧れの NHK ホール、いつの日か、明石高校がこのステージに！！

来年の大会へ向け、勝負は始まりました！！